

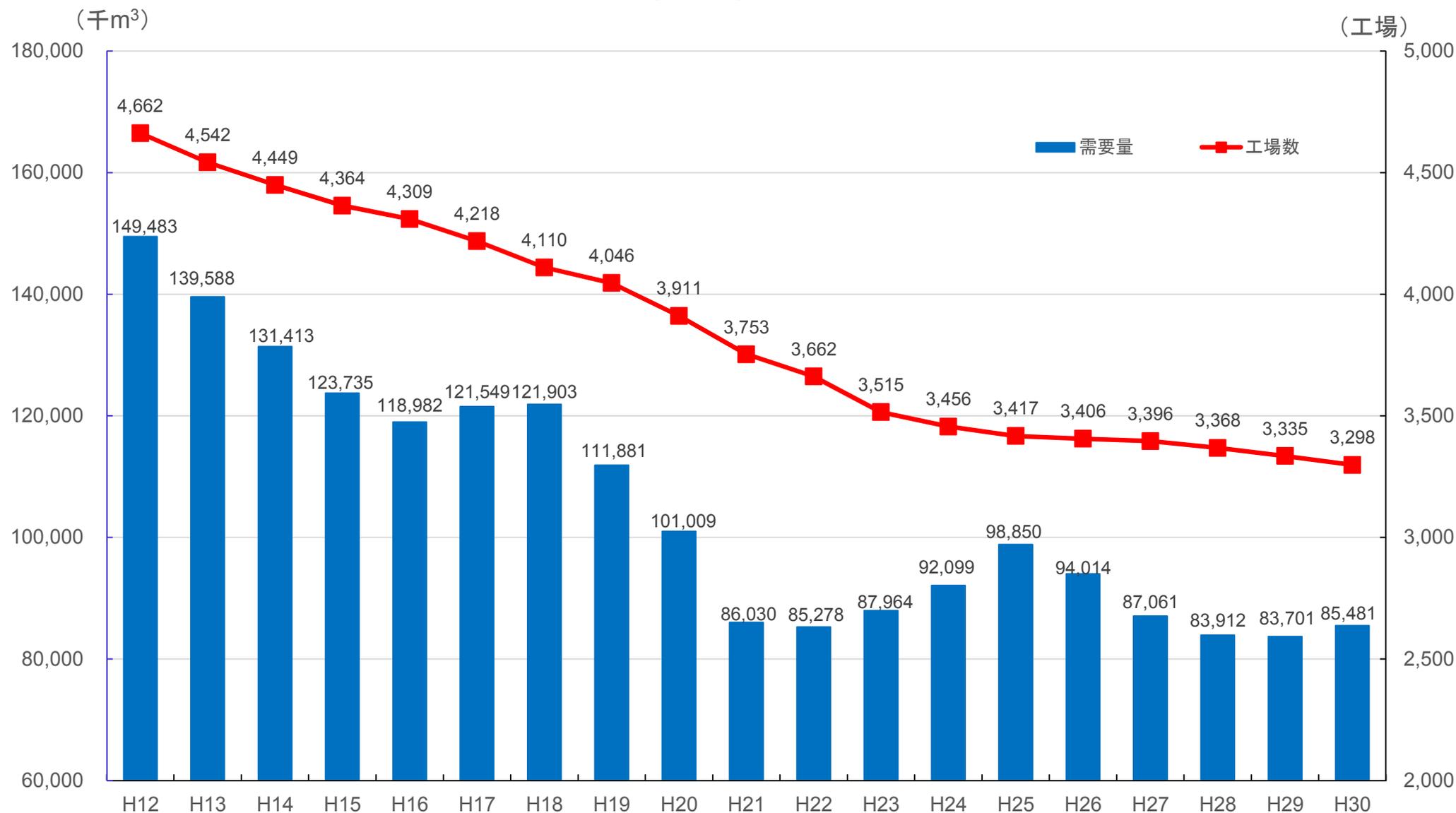
道路で利用する 建設資材を取り巻く状況

道路で利用される主な建設資材について

	道路での主な用途	利用する主な規格
コンクリート	<ul style="list-style-type: none"> ・橋梁(橋脚、橋桁など) ・トンネル(覆工など) ・ボックスカルバート 	<ul style="list-style-type: none"> ・生コン(18-18-25)など
砕石	<ul style="list-style-type: none"> ・コンクリート骨材 ・アスファルト骨材 ・舗装路盤 	<ul style="list-style-type: none"> ・再生クラッシャーラン(40mm-) ・クラッシャーラン
アスファルト	<ul style="list-style-type: none"> ・舗装材 	<ul style="list-style-type: none"> ・再生アスファルト合材
鋼材	<ul style="list-style-type: none"> ・橋梁(橋桁など) ・鉄筋コンクリートの配筋 	<ul style="list-style-type: none"> ・H鋼 ・異形鋼棒
合板	<ul style="list-style-type: none"> ・コンクリート構造物の型枠 	<ul style="list-style-type: none"> ・合板:900×1800×12mm ・塗装合板:900×1800×12mm

生コンクリート需要と生コン工場数の推移

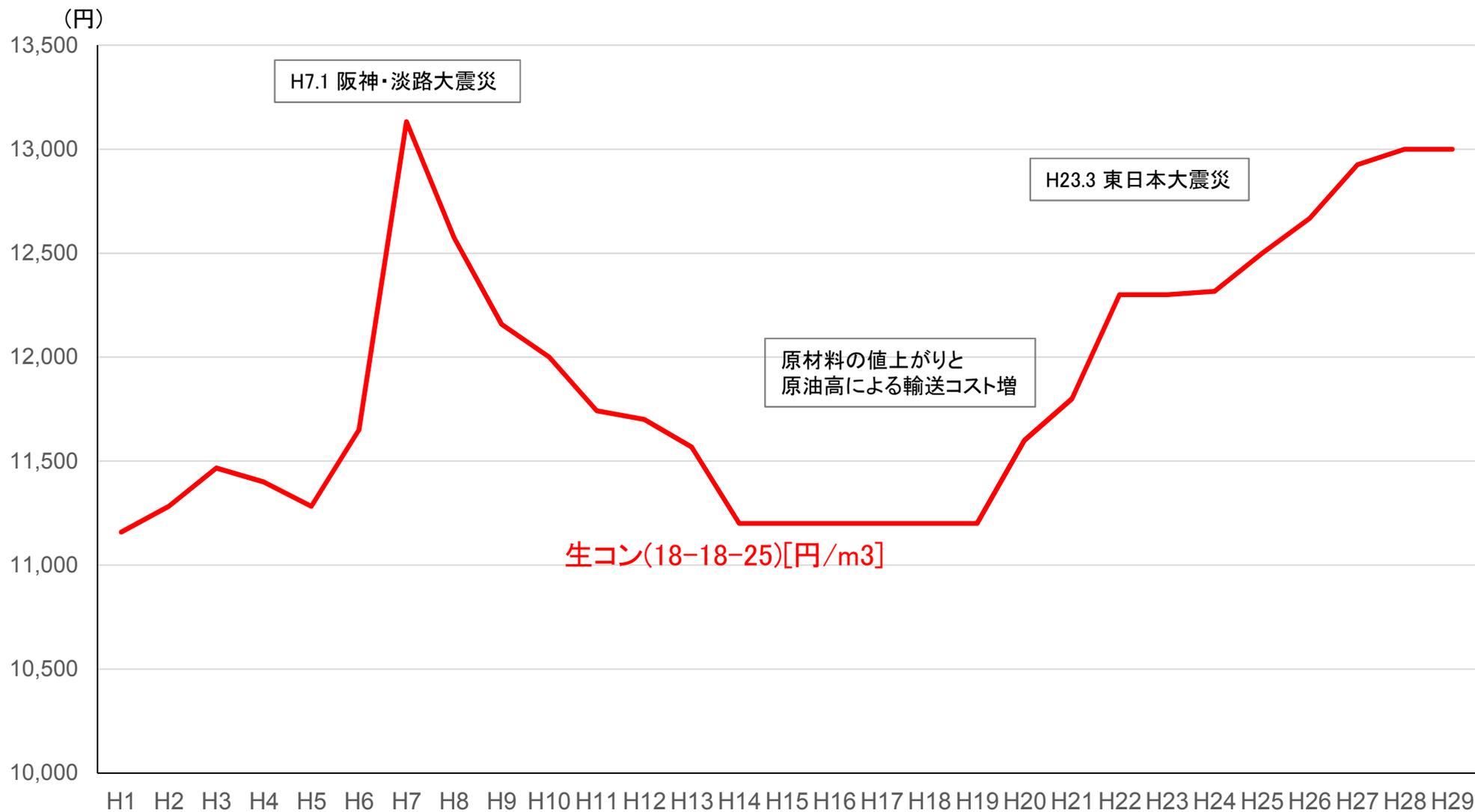
- 生コンクリート需要については、年々減少し、2000年(H12)以降、約6割に減少(64,002千m³減少)
- 生コンクリート生産工場については、2000年(H12)以降約7割に減少(1364工場減少)



出典：全国生コンクリート工業組合連合会

資材価格の推移(コンクリート)

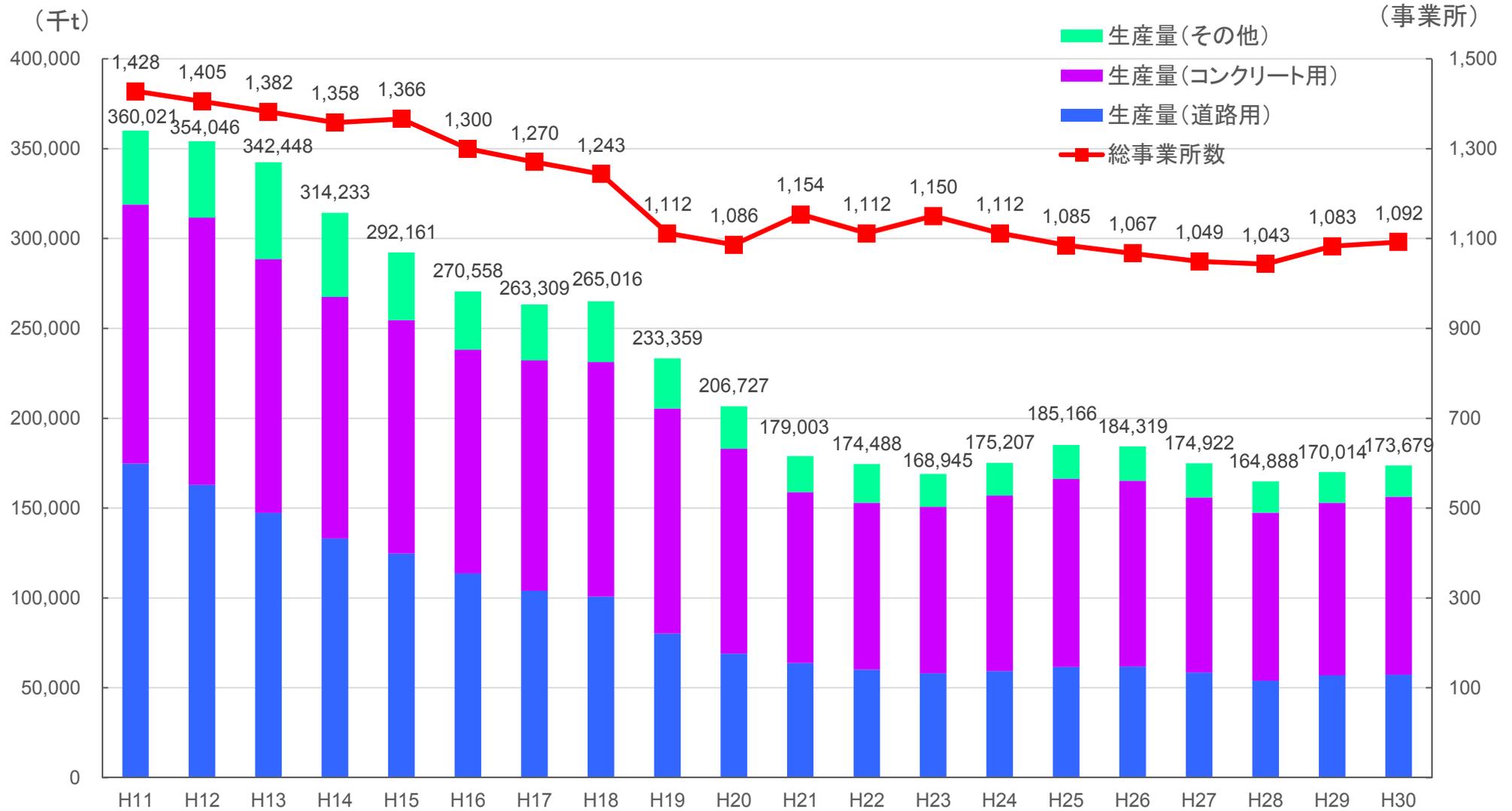
○生コンの資材価格は近年上昇傾向にある



出典：建設物価掲載データ（東京単価）

砕石の生産数と砕石事業所数の推移

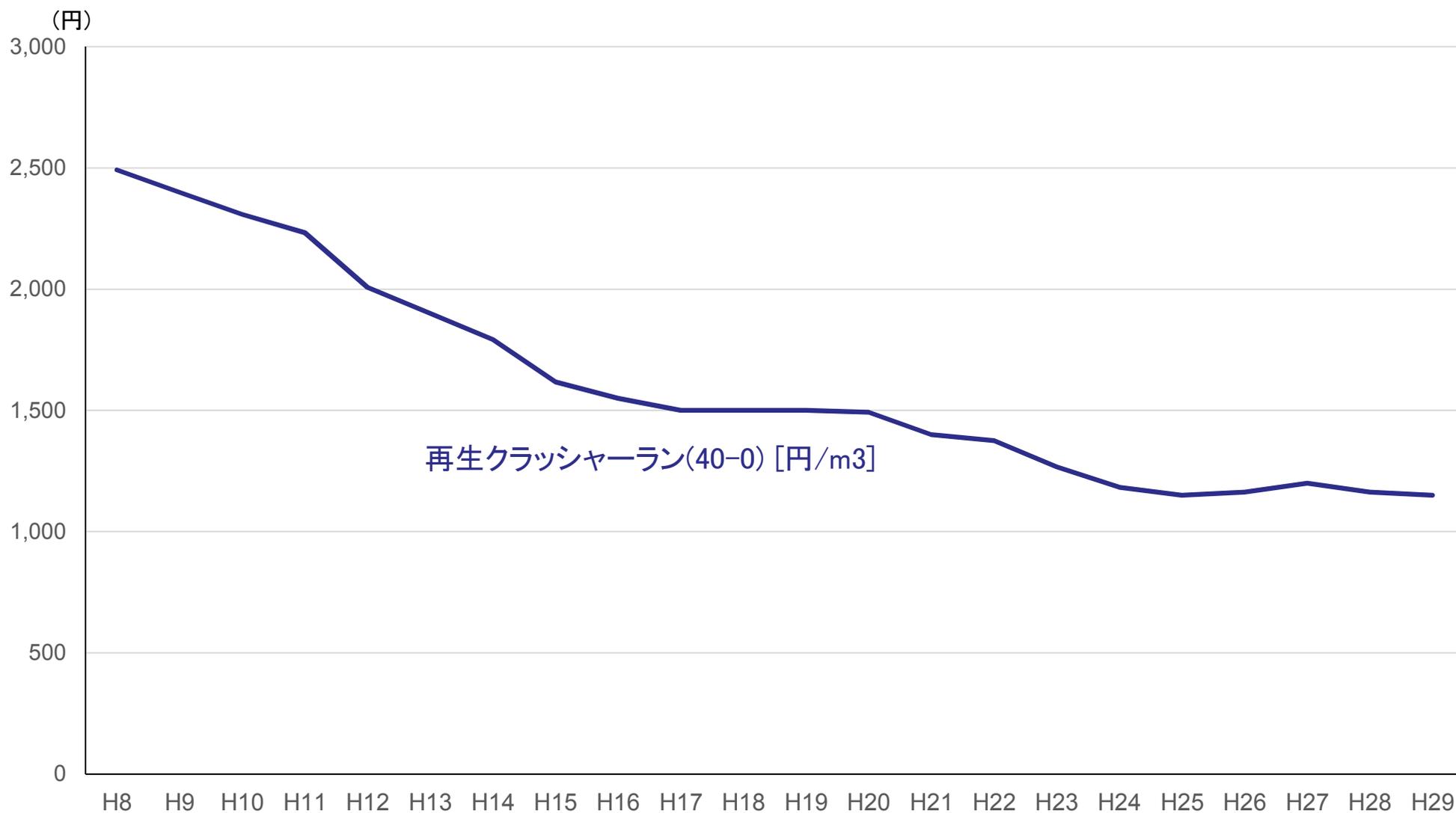
- 砕石の生産数については、道路用、コンクリート用ともに年々減少
- 砕石の事業所については、平成11年以降約8割に減少（336事業所減少）



出典：砕石等統計年報

資材価格の推移(再生クラッシャーラン)

○再生クラッシャーランの資材価格は、供給量の確保により下落方向にある（砕石の価格は今後確認）



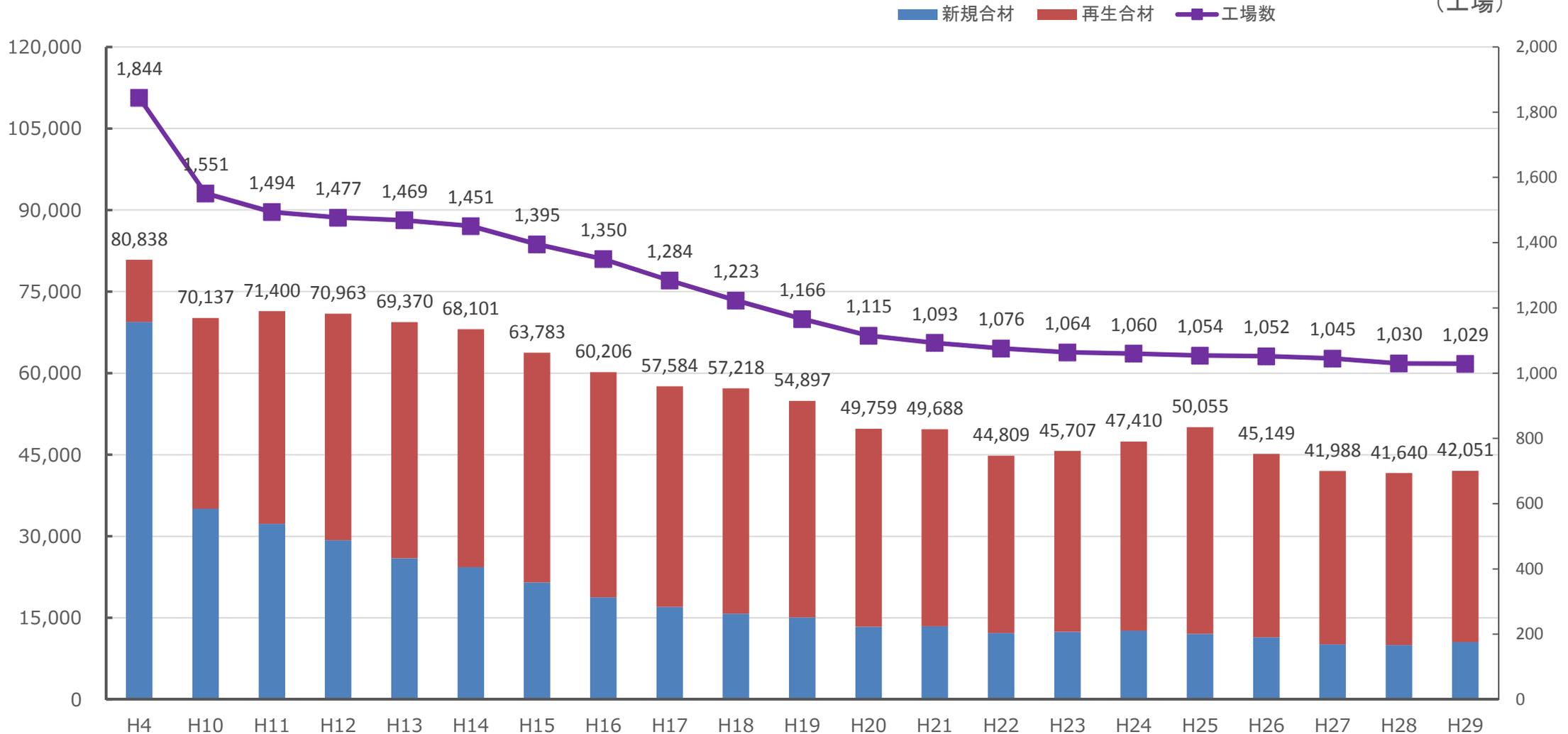
出典：建設物価掲載データ（東京単価）

アスファルト合材の生産量の推移

- アスファルト合材の生産量については、年々減少し、平成4年以降約5割に減少（38,787千t減少）
- 生産工場については、平成4年以降約6割に減少（815工場減少）

(千t)

(工場)

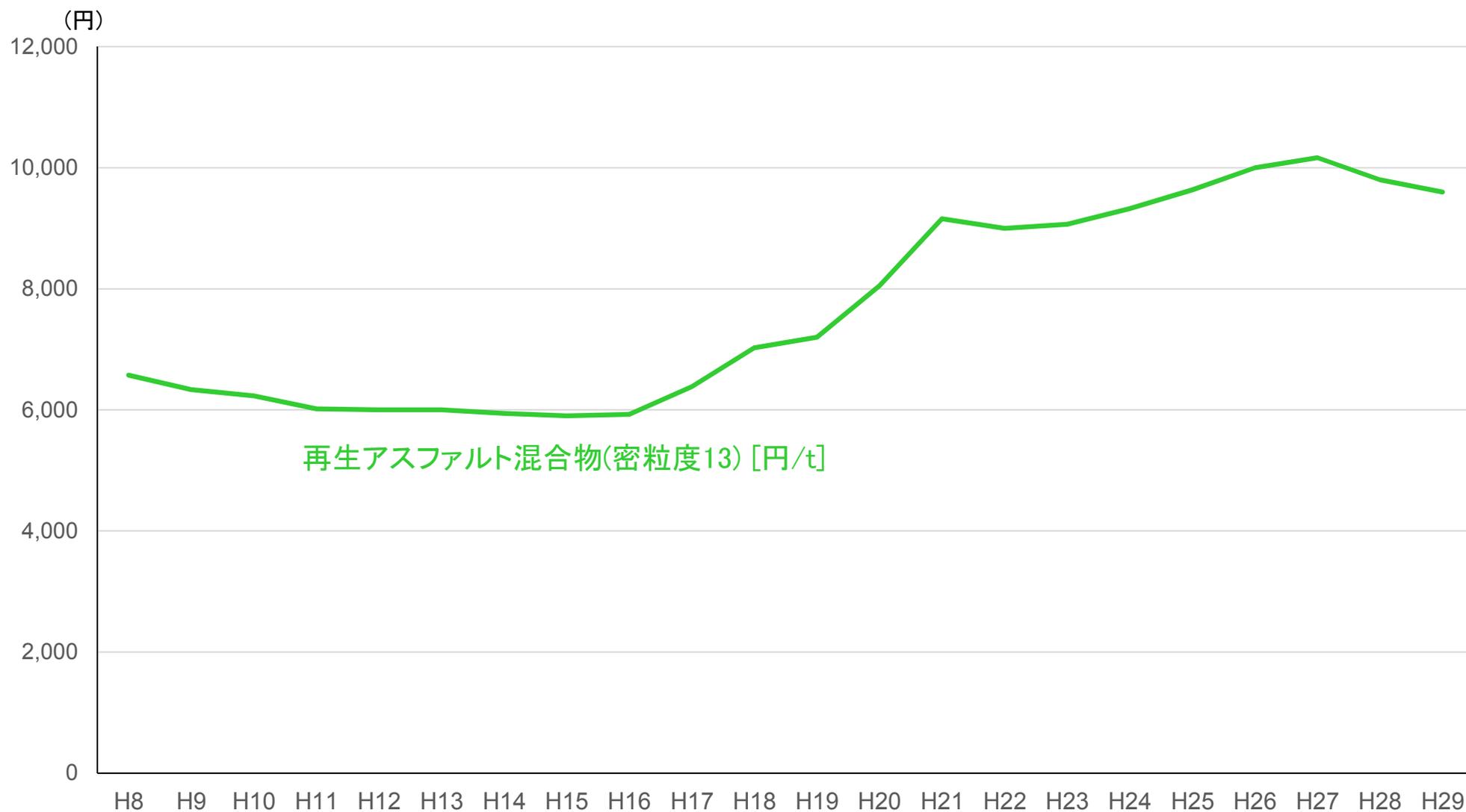


※工場数についてはH11年までは稼働プラント数

出典：アスファルト合材統計年報

資材価格の推移(アスファルト混合物)

○再生アスファルト混合物の資材価格は上昇傾向にある（新設アスファルト混合物の価格は今後確認）

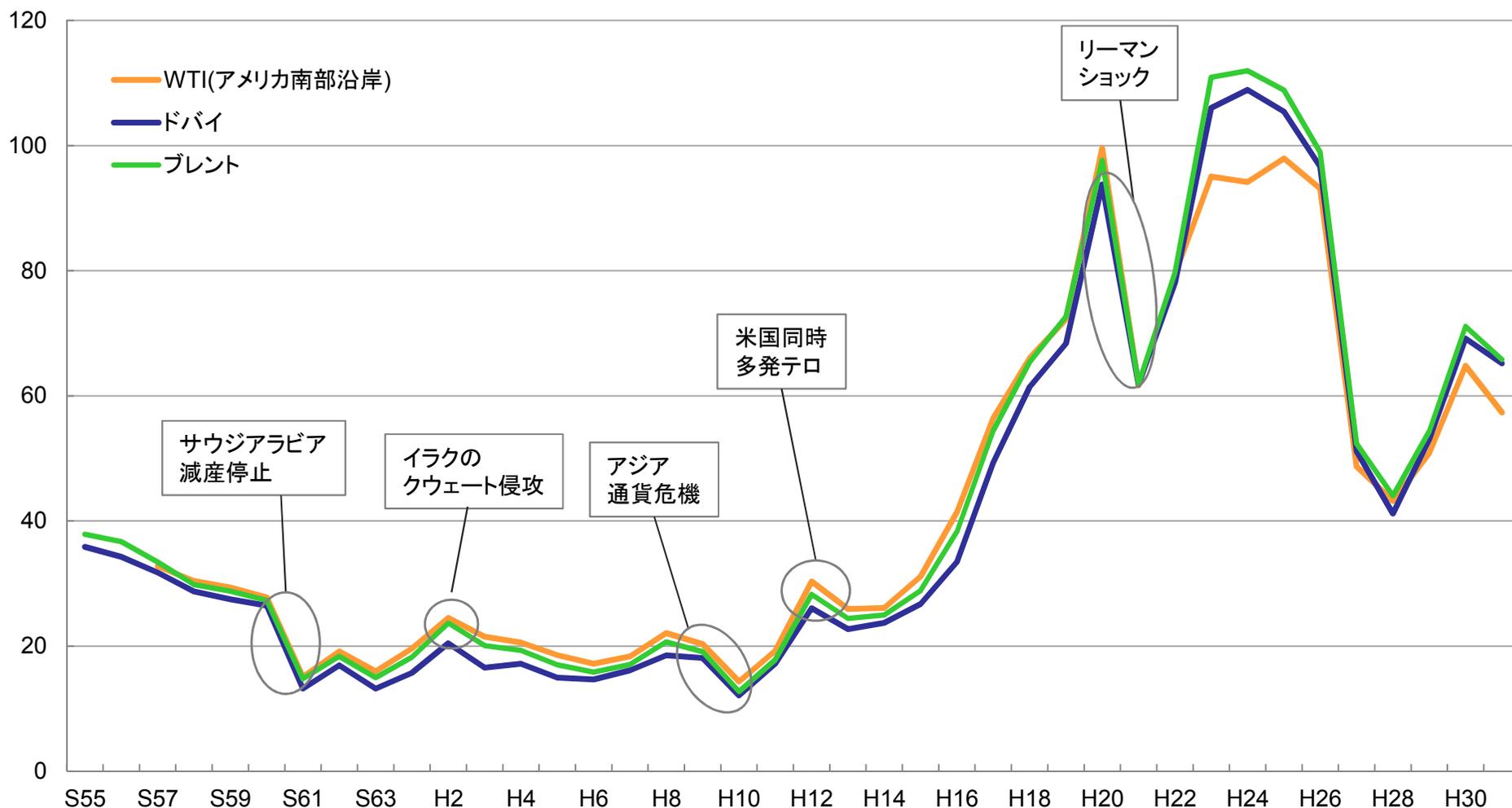


出典：建設物価掲載データ（東京単価）

[参考] 資材価格の推移(原油)

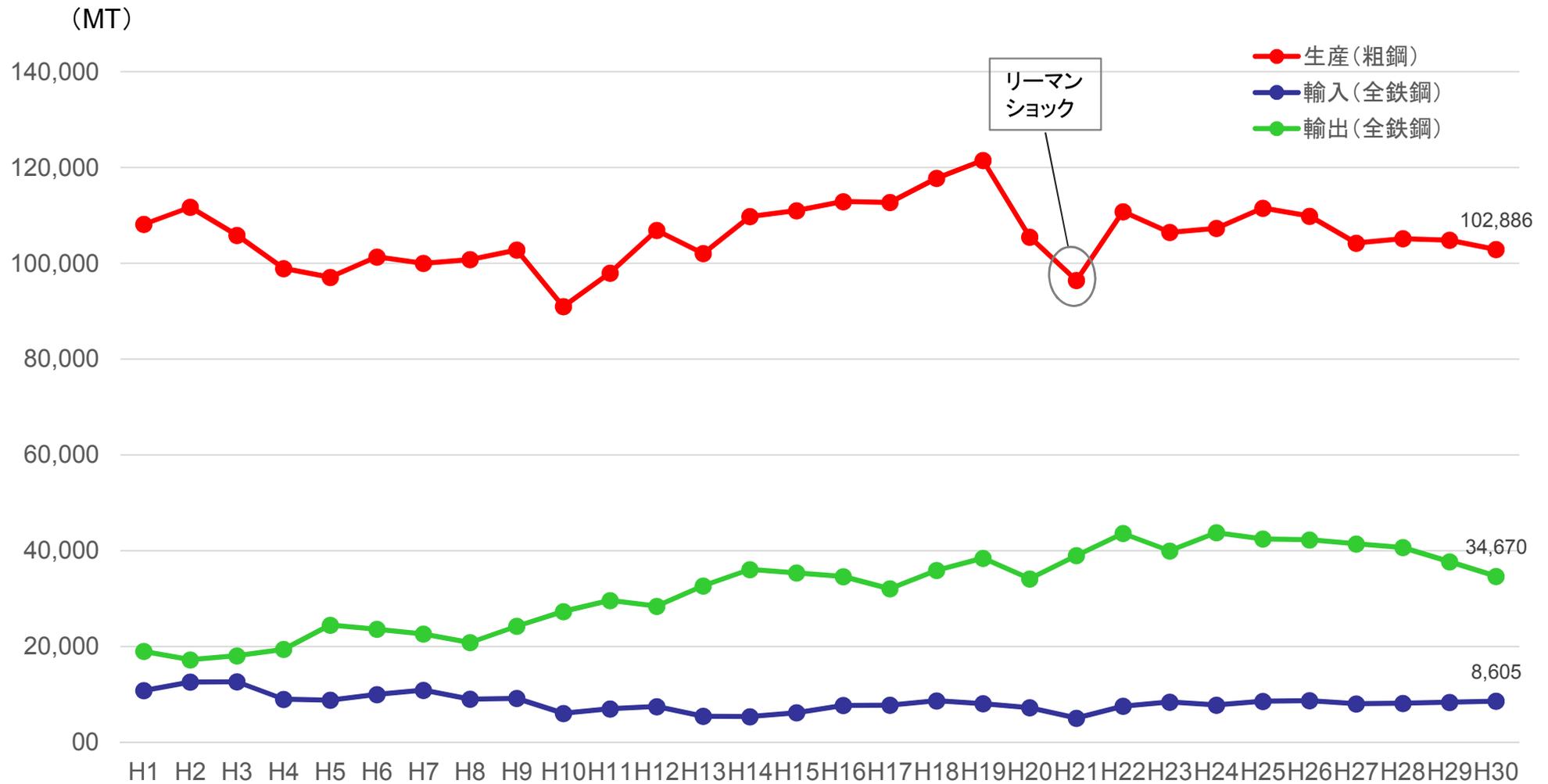
○原油価格は国際状況により大きく変動

(USドル/バレル)



※価格変動の要因は「エネルギー白書2016」より

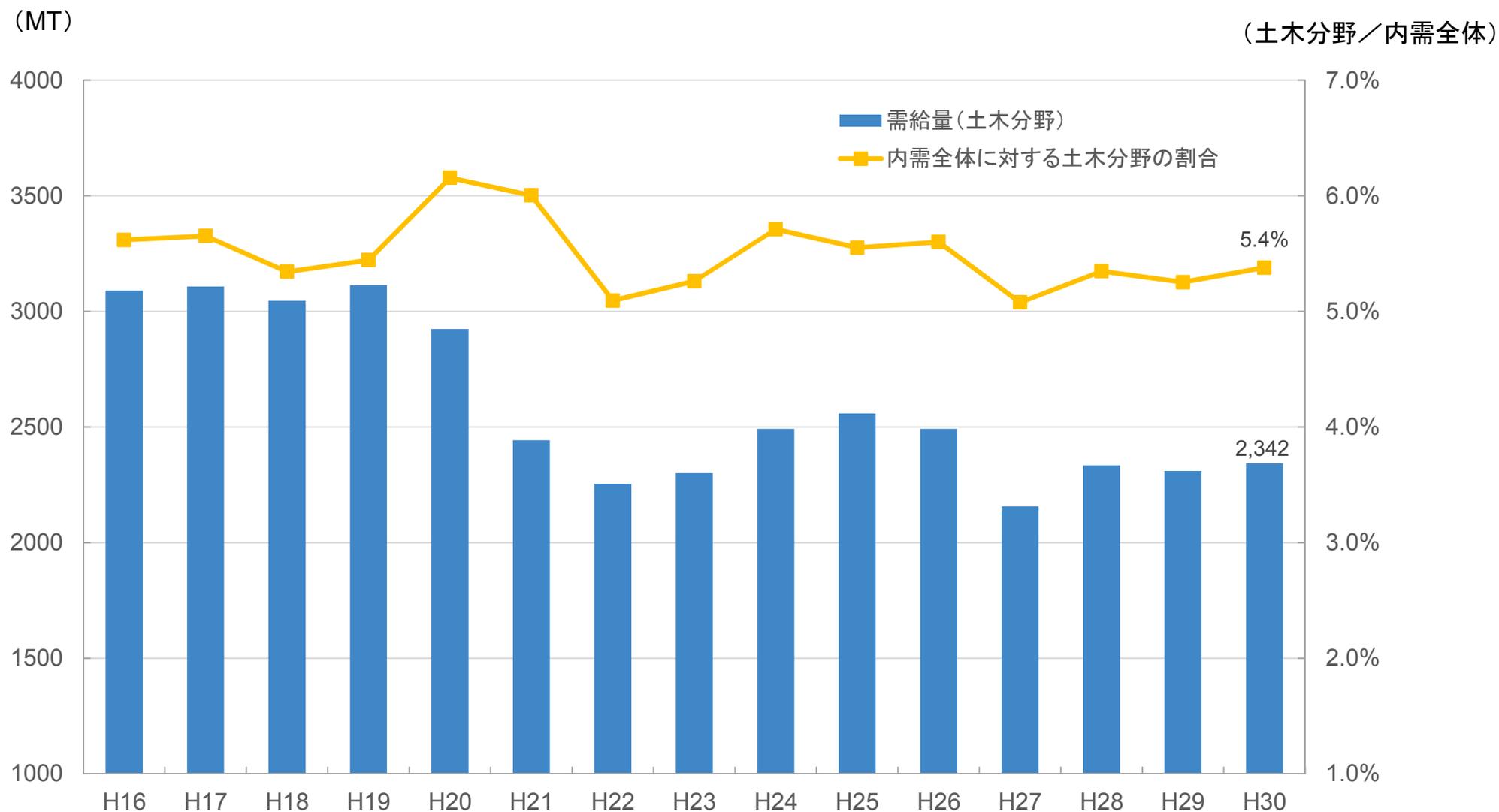
○日本の粗鋼生産はほぼ横ばいで推移



出典：日本鉄鋼連盟：鉄鋼需給総括

鋼材(普通鋼)の土木分野における需給量

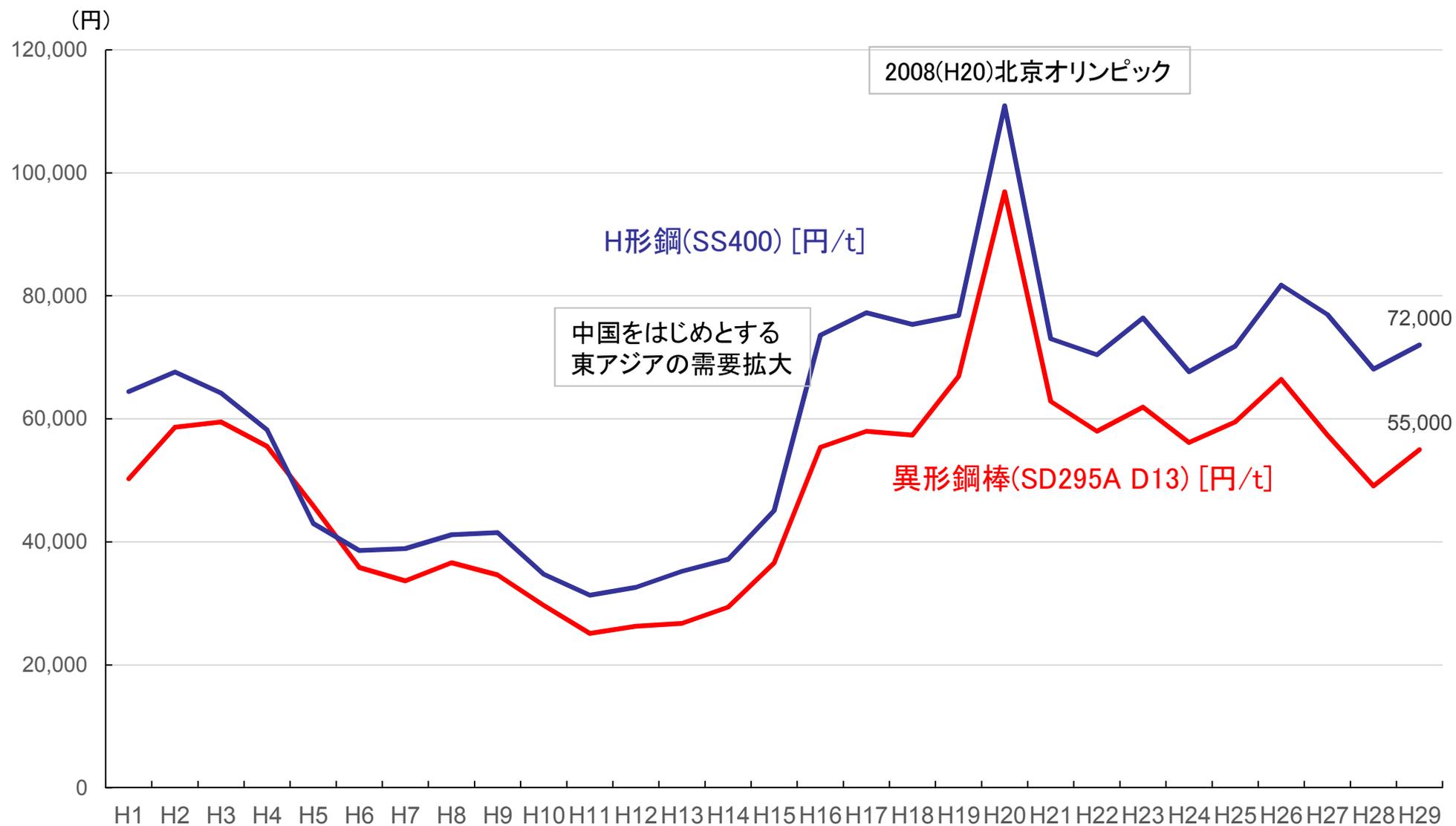
○土木分野における鉄鋼の需給量は減少傾向にあるが、内需全体が減少傾向にある



出典：鉄鋼統計需給月報（日本鉄鋼連盟）

資材価格の推移(鋼材)

○鋼材の資材価格については、海外需要等に伴い変動が激しい



出典：建設物価掲載データ（東京単価）